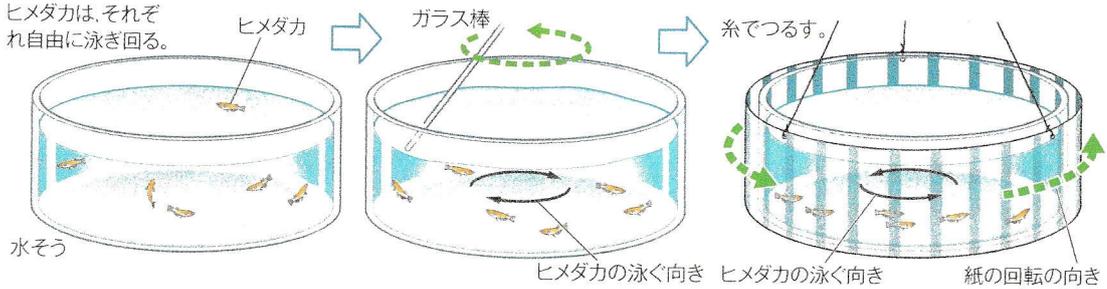


ヒメダカが刺激をどこで感じているかを調べる実験

- ① 円形の水そうにヒメダカを数ひき入れて、泳ぐようすを観察する。  
 ② ガラス棒で同じ方向に水をかき回して水流をつくり、ヒメダカの泳ぐようすを観察する。  
 ③ 水そうの外側で縦じま模様の紙を回し、ヒメダカが泳ぐようすがどうなるか調べる。



① のとき、水そうのヒメダカに手をかざすと、ヒメダカはパッと逃げけた。

↓  
 これはヒメダカが(目)で(光)の刺激を受けとっているから。  
 影でバレるんやて。

② のとき、棒で右の方向に回して流れをつくると、ヒメダカは(左)の方向に泳ぐ。

↓  
 流れに反対に泳ぐ  
 逆に泳ぐと覚えておく 通常は

これは、ヒメダカが(からだの表面)の(側線)という感覚器官で、(水の流れ)の刺激を受けとっているから。

↓  
 なぜか？ ヒメダカは水に流されたくなくて、その場にとどまろうとする習性があるから

③ のとき、模様を右の方向に回すと、ヒメダカは(右)の方向に泳ぐ。

↓  
 これは、ヒメダカが(目)で風景を認識しているから。水に流されないように、(見える風景が変わらないように)泳ぐので、糸の回転の向きと同じ向きに泳ぐ。

縦じま模様の糸のときは、同じ方向に泳ぐと覚えておく